

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

特集 2010年代の里山管理シンポジウムII／里山資源の循環的利用

Volume 37
Number 1
June 2015



関西自然保護機構
Kansai Organization for Nature Conservation

表 紙 の 言 葉

兵庫県宍粟市の里山のタムシバ

写真 伊東 明

文 名波 哲

タムシバはモクレン科の落葉高木で、その大きな白い花が開けば、山が一気に華やいてくる。タムシバの性表現は両全性雌雄同株であるが、1つの花の中で雌しべと雄しべの成熟時期が異なる花内異熟性をもつ。これは、雌雄の性機能を時間的に分離することにより同花受粉をさける巧妙なシステムであり、タムシバの場合は雌しべが雄しべに先んじて成熟する雌性先熟である。集団を構成する各個体の開花時期が少しずつ異なることにより、他家受粉が促進されていると考えられる。特別の管理はされていないそうだが、里山の適度な光環境がタムシバの生育に適しているのだろう。

写真：2007年3月31日撮影

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。